MA1307-B © 2013 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO

P

5320P*JA

取扱説明書

5320

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
また、本機をご使用になる前には、安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

重要

- ご使用いただく前に、まずは時計の充電量をご確認ください。

参照　充電量の確認…P.12

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら時計を動かします。

→ P.14

正確な時刻がわかります

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

→ P.17

秒針の位置を自動的に補正します

万一、強い磁気や衝撃を受けて秒針の表示位置がずれた場合、位置のずれを自動的に補正します。

→ P.31

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。



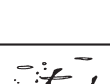
⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。
ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

この時計の特長 1

安全上のご注意 2

ご使用になる前に 8
- 本文中の記号について 8
- 各部の名称 9
- 文字板の表示について 10
- りゅうずの操作 11
- 針と日付の動き方について 12
- 充電量の確認 12
- 時刻と日付の確認 13

光で充電（ソーラー充電） 14
- 充電の方法 14
- 充電不足や充電切れ 15
- 充電必要度のめやす表示 15
- 充電時間のめやす 16
- パワーセービング機能 16

電波時計について 17
- 電波の受信範囲と条件 18
- 受信を行う場所 19
- 電波の受信方法 19
- 受信に関する注意事項 22

電波の受信場所を設定する 23
- 電波の受信場所の設定 23
- サマータイムの設定 25

時刻と日付を合わせる 27

針のずれ補正 31
- 針のずれを手動で補正する 31

お困りのときは 34
- 針の動きと表示 34
- 充電 35
- 電波受信 36

製品仕様 37

ご使用上の注意 38

お手入れについて 41
本製品で使用している電池について 42
金属バンドの駒詰めについて 42

ご使用になる前に

本文中の記号について

注意：誤った使用方法によるケガや故障を防ぐための情報を記載しています。

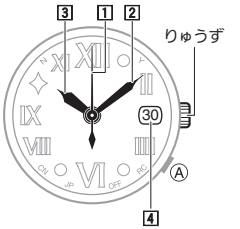
重要：正しく使用するために必要な情報を記載しています。

参考：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。

：詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

各部の名称

この時計の操作は、Ⓐ ボタンおよびりゅうずを使用します。また、各部の名称は次の通りです。



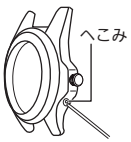
1 秒針
2 分針
3 時針
4 日付

参考

- この取扱説明書では針や表示を説明するために、図に記載した番号を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写を行っているものがあります。ご了承ください。

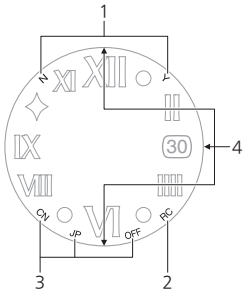
重要

- Ⓐ ボタンは誤動作を防ぐために、指で簡単に押せない構造になっています。先が細いものなどを使用して、ボタンのへこみ部分を押して操作してください。
- 本書ではわかりやすいよう Ⓐ ボタンを目立たせて表示しています。



文字板の表示について

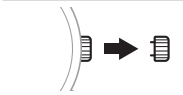
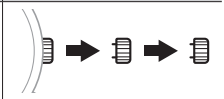
文字板の略語や文字は、以下を表します。



1. Y/N: 電波の受信結果、自動受信の設定
   YES(Y) : 受信成功
   NO(N) : 受信失敗
   受信結果を確認する…P.21
   YES(Y) : 自動受信 ON
   NO(N) : 自動受信 OFF
   自動受信の ON/OFF 設定…P.21
2. RC: 電波受信中
   手動で電波を受信する…P.20
3. HKG(CN)/TYO(JP)/OFF: 電波の受信場所
   受信場所と受信する電波…P.17
4. サマータイムの設定
   00 秒 :AUTO(DST/STD 自動切換え)
   15 秒 :STD(スタンダードタイム)
   30 秒 :DST(サマータイム)
   サマータイムの設定…P.25

りゅうずの操作

りゅうずは、2 段階に引けます（無理に引っ張らないでください）。

1 段引き	2 段引き
	
電波の受信場所の設定など	時刻と日付設定など

参考

- りゅうずを 1 段引いた状態から戻すと、1 秒針が充電必要度のめやすを約 1 秒間表示します。

充電必要度のめやす表示…P.15

りゅうずを回して針を動かすとき、以下の操作で針の動きを早送り / 早戻しすることができます。早送り / 早戻しの設定は 2 段階あり、早送り 2/ 早戻し 2 の状態で針がもっとも速く動きます。

早送り 1/ 早戻し 1		りゅうずを引いた状態で、時計方向（早送り）または、時計方向と逆（早戻し）にすばやく 3 度回す
早送り 2/ 早戻し 2		早送り 1/ 早戻し 1 のときに、りゅうずをすばやく 3 度回す
解除		りゅうずを逆方向に回す、または Ⓐ ボタンを押す

参考

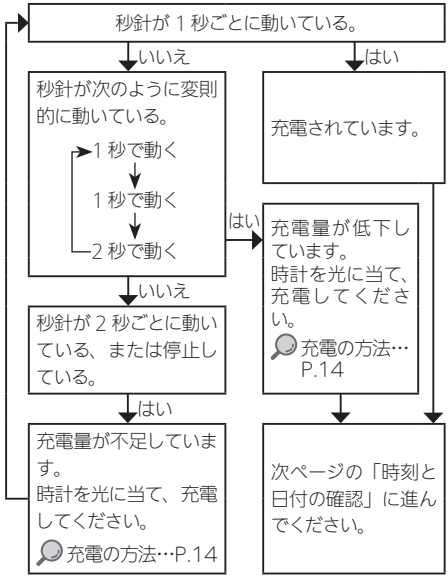
- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。
- 早送り / 早戻しは、時刻修正、針のずれ補正で使うことができます。

針と日付の動き方について

- この時計は、1 秒針と 2 分針が連動しています。2 分針を合わせるときは、1 秒針が繰り返し回転します。
- この時計は、3 時針と 4 日付が連動しています。4 日付を合わせるときは、3 時針を繰り返し回して合わせます。

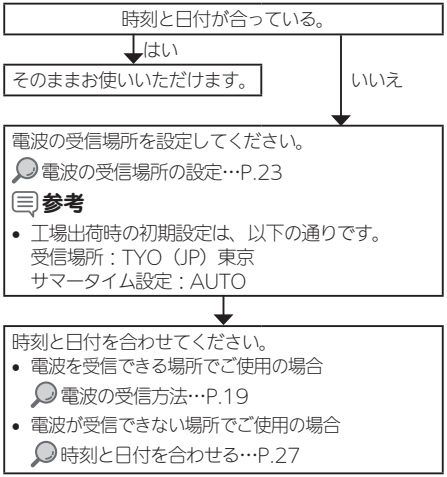
充電量の確認

チャートに従って、充電の状態を確認してください。



時刻と日付の確認

チャートに従って、時刻と日付の表示を確認してください。



重要

- この時計を主に日本以外の国で使用する場合は、電波の受信場所の設定を行ってください。
- 電波の受信場所を正しく設定しないと、電波受信を行わなかったり、受信しても正しい時刻を表示できなくなります。

光で充電（ソーラー充電）

この時計は、ソーラーパネルによって発電した電気をバッテリー（二次電池）に充電しながら使用します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。ご使用の際は、文字板（ソーラーパネル）に光が当たるように心がけてください。

充電の方法



時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。1 ヵ月に 1 回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。



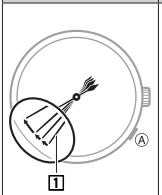
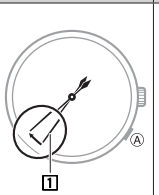
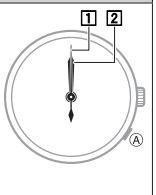
腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電量が低下します。

注意

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがありますので、火傷をしないように注意してください。
- また、以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

充電不足や充電切れ

バッテリー（二次電池）の充電状態は針の動きで確認します。充電不足になると使用できる機能が制限されるため、充電不足になったときは、文字板（ソーラーパネル）に光を当てて充電してください。

充電低下	充電不足	充電切れ
		
1 秒針が次のように変則的に動きます 1 秒で動く→ 1 秒で動く→ 2 秒で動く	1 秒針が 2 秒ごとに動きます（バッテリー充電警告機能）	1 秒針と 2 分針が 12 時位置で停止します

充電必要度のめやす表示

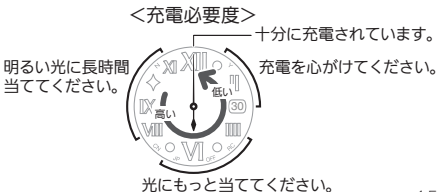
充電がどれくらい必要か、めやすを表示します。

充電必要度のめやすを表示する

●りゅうずを 1 段引きます。1 秒針が電波の受信場所を指したら、りゅうずを戻します。

- 1秒針が充電必要度のめやすを約1秒間表示します。
- 他の操作中でも、りゅうずを 1 段引いた状態から戻したときに表示します。
- 光が当たらない状態が続くと、「充電必要度」が高くなります。
- ご使用状態によっては、「充電必要度」が低くても、充電不足となることがあります。その場合はすぐに充電してください。

充電不足や充電切れ…P.15



充電時間のめやす

充電を行う際のめやすとして、下表をご活用ください。

1 日、使用するために必要な充電時間

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	8 分
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	30 分
曇り日の窓際など（5,000 ルクス）	48 分
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	8 時間

充電量の回復に必要な時間

環境（照度）	充電切れから時計が動き出すまで	時計が動き出してから満充電まで
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	2 時間	24 時間
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	4 時間	91 時間
曇り日の窓際など（5,000 ルクス）	6 時間	147 時間
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	60 時間	—

参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

パワーセービング機能

パワーセービング機能とは、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。

節電状態になるまでの所要時間	針の機能の状態
暗い場所に置いてから約 1 週間	すべての針が 12 時位置で停止します。

参考

- 節電状態は、以下の方法で解除します。
  - ボタンまたはりゅうずを操作する
  - 時計を明るい場所に置く

電波時計について

この時計は、送信所から送信される長波標準電波を受信し、正確な時刻と日付を表示します。
電波を受信するためには受信場所を設定しておく必要があります。

電波の受信場所の設定…P.23

参考

- 日本で使用する場合は、購入時の初期設定から変更する必要はありません。購入時の初期設定は以下の通りです。
  - 都市：TYO（JP）東京
  - サマータイム設定：AUTO

受信場所と受信する電波

受信場所 (受信機能対応都市)	受信可能地域	受信する電波
TYO(JP) 東京	日本	日本の標準電波(JJY)
HKG(CN) 香港	中国	中国の標準電波(BPC)
OFF	受信オフ	電波受信しない

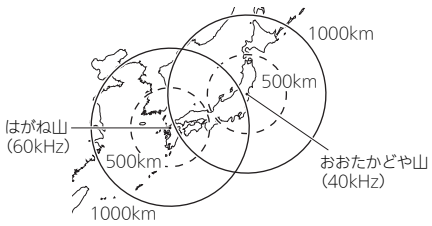
重要

- 電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻設定を行ってください。

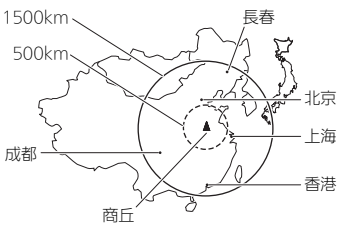
時刻と日付を合わせる…P.27

電波の受信範囲と条件

<日本(JJY)>



<中国(BPC)>



参考

- 電波の受信範囲内でも地形、天候、時期（季節）、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、それらの影響はより大きくなります。
- この時計を使用する国と、電波を送信している国で、サマータイム制度の有無や実施期間などが異なる場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。
- 中国は 2012 年 12 月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後、この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

受信を行う場所



- 金属を避けて、時計の 7 〜 8 時位置を窓に向けて置いてください。電波を受信させている間は、なるべく時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。通常、夜間の方が電波受信しやすくなります。
- 以下の場所では、電波を受信しにくくなります。
  - ビルの中およびその周辺
  - 乗り物の中
  - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
  - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
  - 高圧線の近く
  - 山間部、山の裏側

電波の受信方法

受信方法には、決まった時刻に時計が自動的に受信する自動受信と、ボタン操作で受信する手動受信があります。受信には 2 〜 10 分かかりますが、状況によっては最大で 20 分かかる場合もあります。

自動的に電波を受信する

❶ 時計を受信しやすい場所に置いてください。

受信場所を、TYO(JP)東京に設定したときは午前 2・3・4 時に、HKG(CN)香港に設定したときは午前 1・2・3 時に、自動的に受信します。ただし 1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

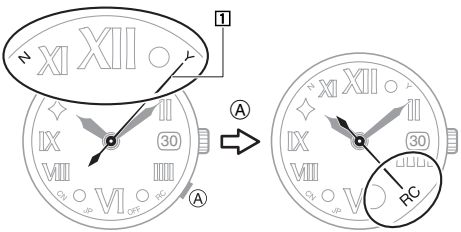
❷ 受信が成功すると自動的に時刻を修正します。

受信に失敗した場合は、時刻を修正しません。

手動で電波を受信する

❶ Ⓐ ボタンを 2 秒以上押し続けます。

1 秒針が前回の受信結果「YES」（Y）または、「NO」（N）を示した後「RC」（受信中）の位置に移動し、電波受信が開始されます。



参考

- 受信を中止したいときは、Ⓐ ボタンを押します。

❷ 受信に成功すると自動的に時刻を修正します。

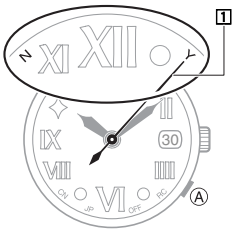
参考

- 受信に失敗した場合は、周辺の受信環境を確認の上、再度受信操作を行ってください。

受信を行う場所…P.19

受信結果を確認する

❶ Ⓐ ボタンを押すと、前回の受信結果を確認できます。



1 秒針の表示と受信結果

YES（Y）	受信成功
NO（N）	受信失敗

❷ Ⓐ ボタンを押す、または何も操作をしないまま約 10 秒経過すると時刻表示に戻ります。

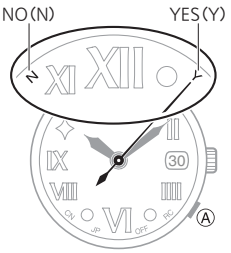
参考

- 受信が成功していても、その後に手動で時刻や日付を変更した場合は、1 秒針が「NO」（N）を示します。

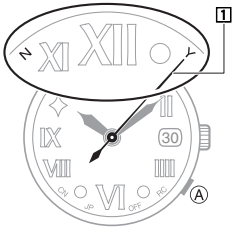
自動受信の ON/OFF 設定

自動受信の設定を OFF にして自動受信機能を停止させることができます。

❶ Ⓐ ボタンを押すと、前回の受信結果を表示します。



❷ 10 秒以内 (1 秒針が受信結果を表示中) にりゅうずを 1 段引くと、1 秒針が現在の設定を示します。



❸ りゅうずを回して、設定したい位置に 1 秒針を合わせます。
- 自動受信 ON なら「YES」(Y)
- 自動受信 OFF なら「NO」(N)

❹ りゅうずを戻します。
時刻の表示に戻ります。

重要
- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

受信に関する注意事項

- 電波を受信して時刻を修正する際に、時計内部の演算処理などにより若干（1 秒未満）のずれが発生します。
- 以下の状態では、電波を受信することができません。
  - 充電不足のとき
  - 節電状態のとき
- 電波障害により誤った信号を受信した場合は、再度受信を行ってください。
- 電波受信による時刻の修正ができない場合の精度は、巻末の「製品仕様」の「精度」を参照してください。

製品仕様…P.37

電波の受信場所を設定する

この時計は、電波の受信場所を設定して電波を受信すれば、自動的に正しい時刻と日付を表示します。

重要

- 電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻設定を行ってください。

時刻と日付を合わせる…P.27

電波の受信場所の設定

この時計を使用する場所に合わせて、電波の受信場所を以下のように設定してください。

日本	TYO（JP）東京
中国	HKG（CN）香港
上記以外の地域	OFF（受信オフ）

受信場所を正しく設定しないと、電波を受信できる場所にいても受信できないほか、時刻を正しく表示しない原因になります。

受信場所と受信する電波…P.17

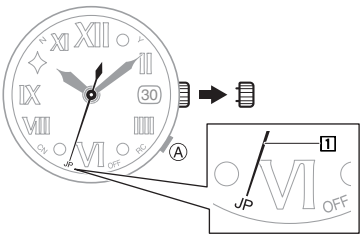
重要

- 日本で使用する場合は、受信場所を TYO（JP）東京に設定します。

電波の受信場所を確認する

❶りゅうずを 1 段引きます。

1 秒針が現在選択している受信場所を示します。



❷りゅうずを戻します。

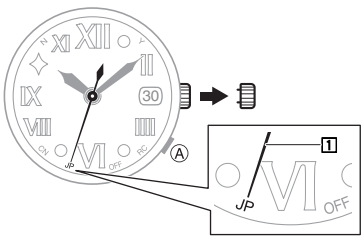
1 秒針が充電必要度のめやすを表示後、時刻を表示します。

充電必要度のめやす表示…P.15

電波の受信場所を変更する

❶りゅうずを 1 段引き、電波の受信場所セット状態にします。

1 秒針が現在選択している受信場所を示します。



❷りゅうずを回し、1 秒針を設定したい受信場所の位置に合わせます。

重要

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

❸ りゅうずを戻します。

1 秒針が充電必要度のめやすを表示後、時刻を表示します。

充電必要度のめやす表示…P.15

サマータイムの設定

JP および CN のサマータイムの設定は、「AUTO」が初期状態です。サマータイムの設定が「AUTO」であれば、自動でサマータイムへ切り替わるので、設定を変更する必要はありません。

ただし、次の場合は「AUTO」から「STD」または「DST」に設定を変更してご使用ください。

- サマータイムの実施期間が異なる場合
- 日本・中国以外の地域で使用する場合

参考

- サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（STD：スタンダードタイム）から 1 時間進める夏時間制度のことです。
  サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

サマータイムの設定とそれぞれの設定内容

00 秒：AUTO （STD/DST 自動切り替え）	スタンダードタイムとサマータイムがカレンダーによって自動で切り替わります。
15 秒：STD （STD 固定）	常にスタンダードタイムを表示します。
30 秒：DST （DST 固定）	常にサマータイムを表示します。

サマータイムの設定を切り替える

❶ りゅうずを 1 段引きます。

1 秒針が現在選択している受信場所を示します。

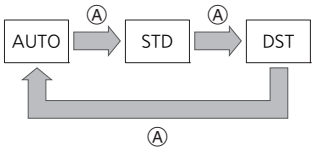
❷ Ⓐ ボタンを押します。

1 秒針が現在のサマータイムの設定を示します。

- 約 3 秒経過すると、受信場所に戻ります。

❸ Ⓐ ボタンを1秒間押し続けます。

Ⓐ ボタンを 1 秒間押すごとに、サマータイムの設定が、次の順番に切り替わります。



❹ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

✔ 重要

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

時刻と日付を合わせる

電波受信できない地域で使用するときは、時刻と日付を手動で合わせます。

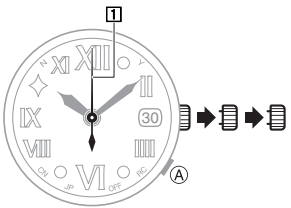
重要

- 電波受信できる地域で使用しているときは、電波受信による時刻と日付の修正をおすすめします。

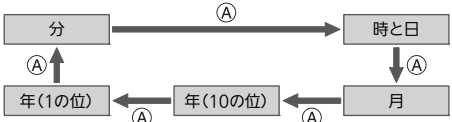
手動による時刻と日付の合わせ方

❶ りゅうずを 2 段引き、時刻の手動合わせ状態にします。

1 秒針が 12 時位置に移動して止まります。



- 修正できる項目は、Ⓐ ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。



❷ りゅうずを回し、分を合わせます。

参考

- 針は早送り / 早戻しで合わせることができます（最大 1 時間）。

りゅうずの操作…P.11

❸ Ⓐ ボタンを押します。

3 時針が少し動いて、時と日を設定できる状態になったことをお知らせします。

❹ りゅうずを回し、時と日を合わせます。

- 4 日付を合わせるには、3 時針を繰り返し回して合わせます。
- 日付は午後 10 時～午前 2 時にかけて少しずつ変わります（午前 12 時は日付が中央に表示されていません）。
- 午前・午後は、4 日付の切り替わりを参考に、合わせてください。

参考

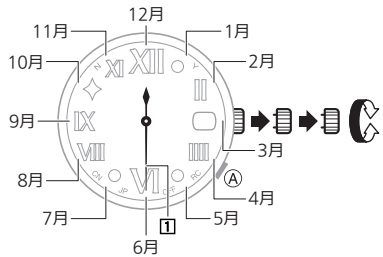
- 針は早送り / 早戻しで合わせることができます（最大 24 時間）。

りゅうずの操作…P.11

❺ Ⓐ ボタンを押して、月セット状態にします。

1 秒針が現在の月まで移動します。

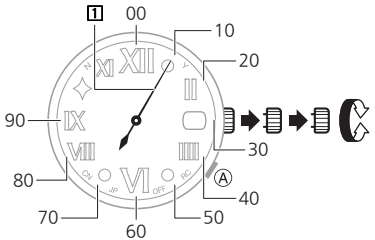
❻ りゅうずを回し、月を設定します。



❼ Ⓐ ボタンを押して、年（10 の位）セット状態にします。

1 秒針：西暦の 10 の位を表示します。

❽ りゅうずを回し、年（10 の位）を設定します。

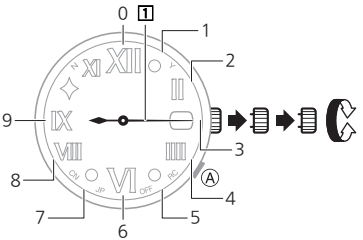


〈西暦の10の位〉

❾ Ⓐ ボタンを押して、年（1 の位）セット状態にします。

1 秒針：西暦の 1 の位を表示します。

❿ りゅうずを回し、年（1 の位）を設定します。



〈西暦の1の位〉

⓫ 時報に合わせて、りゅうずを戻します。

1 秒針が 0 秒から動き始めます。

参考

- この時計の日付機能は、異なる月の長さや、うるう年にも対応しています。

重要

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

針のずれ補正

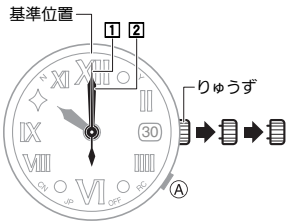
強い磁気や衝撃を受けると、針や日付の表示がずれることがあります。この状態では電波を受信しても正確な時刻が表示できなくなります。
1 秒針のずれ補正は自動的に行います（秒針位置自動補正機能）。
以下の場合は手動で補正してください。
- 秒針が自動で補正されない場合
- 時針、分針、日付がずれた場合

針のずれを手動で補正する

重要
- 正しい時刻を表示しているときは、この操作を行う必要はありません。

❶りゅうずを 2 段引きます。

❷Ⓐ ボタンを 5 秒以上押し続けると、1 秒針と 2 分針が基準位置（12 時位置）に移動します。



❸1 秒針と 2 分針が 12 時位置で停止することを確認します。
- 12 時位置で停止したときは、手順 5 に進みます。

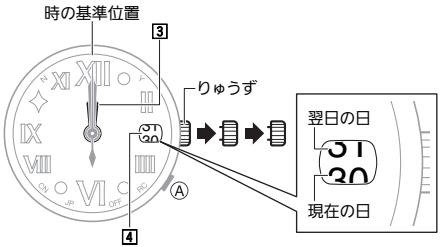
❹ りゅうずを回して 1 秒針と 2 分針を 12 時位置に合わせます。

- 2 分針は 1 秒針と連動するため、2 分針を合わせるときは 1 秒針を早送り / 早戻しして合わせます。

りゅうずの操作…P.11

❺ Ⓐ ボタンを押すと、3 時針が基準位置（12 時位置）に移動します。

- 4 日付は現在の日と翌日の日の間に移動します。



❻ 3 時針が 12 時位置で停止することを確認します。

- 3 時針のずれが 3 時間を超えているときは、手順 9 に進み「時刻と日付の補正」を行います。

❼ りゅうずを回して、3 時針を 12 時位置に合わせます。

針は早送り / 早戻しで合わせることができます（最大 24 時間）。

りゅうずの操作…P.11

❽ りゅうずを戻します。

針・日付のずれの補正が終わり、時刻表示に戻ります。

✔ 重要

- 上記の操作後は、時刻と日付を合わせてください。
  - 電波を受信できる場所でご使用の場合

電波時計について…P.17

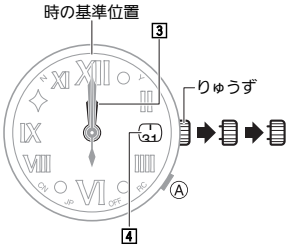
  - 電波を受信できない場所でご使用の場合

時刻と日付を合わせる…P.27

時刻と日付の補正

⑨ Ⓐ ボタンを 2 秒以上押すと、3 時針と 4 日付が基準位置に移動します。

- 3 時針の基準位置は、12 時位置です。
- 4 日付の基準位置は、31 と 1 の間です。



⑩ 3 時針と 4 日付が基準位置で停止することを確認します。

⑪ りゅうずを回して、3 時針と 4 日付を基準位置に合わせます。

4 日付は 3 時針と連動するため、4 日付を合わせるときは 3 時針を早送り / 早戻しして合わせます。

りゅうずの操作…P.11

⑫ りゅうずを戻します。

針・日付のずれの補正が終わり、時刻表示に戻ります。

重要

- 上記の操作後は、時刻と日付を合わせてください。
  - 電波を受信できる場所でご使用の場合

    電波時計について…P.17
  - 電波を受信できない場所でご使用の場合

    時刻と日付を合わせる…P.27
- りゅうずを引いた状態で約 30 分間何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。

針の動きと表示

状況	原因と対処
秒針が 1 秒→ 1 秒→ 2 秒と変則的に動いている。	充電量が低下しています。光に当てて充電してください。 充電の方法…P.14
秒針が 2 秒ごとに動いている。	充電量が不足しています。光に当てて充電してください。 充電の方法…P.14
秒針と分針が 12 時位置で停止し、ボタン／りゅうずの操作ができない。	充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。 充電時間のめやす…P.16
突然、針の動きが速くなった。	以下が原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。 • 節電機能を解除し、復帰している。 パワーセービング機能…P.16 • 電波の自動受信により、時刻修正をしている。 電波の受信方法…P.19
りゅうずを回しても、何も操作ができない。	りゅうずを引いたまま 2 分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。 りゅうずの操作…P.11
針の動きが止まっている。	磁石などで針を完全に止められていた場合、針は停止状態になります。りゅうずを 1 段引くか、ボタンを押すと、動き出します。正しい時刻を表示していないときは、針のずれを補正してください。 針のずれを手動で補正する…P.31
現在時刻の表示が数時間ずれている。	電波の受信場所の設定が正しくありません。電波の受信場所の設定を確認してください。 電波の受信場所の設定…P.23

状況	原因と対処
現在時刻の表示が 1 時間ずれている	サマータイム設定の「STD（スタンダードタイム）」と「DST（サマータイム）」が正しくありません。 サマータイムの設定…P.25
	サマータイム設定の「STD（スタンダードタイム）」または「DST（サマータイム）」が手動設定になっています。 サマータイムの設定…P.25
時刻と日付の表示位置がずれている。	強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。ずれの補正を行ってください。 針のずれ補正…P.31
時刻は合っているが、日付が中央に表示されていない。	日付はおよそ午後 10 時～午前 2 時にかけて少しずつ変わりますので、この時間帯のときは故障ではありません。また、電波の受信場所を変更し、変更した電波の受信場所がこの時間帯のときも同様です。

充電

状況	原因と対処
光に当てても操作できない。	充電切れになると操作ができなくなります。充電が回復するまで光を当ててください。 充電時間のめやす…P.16

電波受信

この項目は、電波の受信場所を、TYO (JP) 東京、HKG (CN) 香港に設定している場合に該当します。

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない。 (受信結果が「NO」(N)になる)	電波受信中に時計を動かしたり、ボタンを操作した。 電波を受信させるときは、受信の場所に注意して、時計が受信をしやすい環境に置いてください。 受信を行う場所…P.19
	電波障害による受信の失敗。 周辺の環境を確認し、電波障害のない所で受信してください。 電波の受信範囲と条件…P.18
電波の受信が成功しない。 (受信結果が「NO」(N)になる)	送信所から電波が送信されていない可能性があります。 独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) 日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。 電波の受信範囲と条件…P.18
電波が受信できない。	電波の受信場所の設定が正しくない可能性があります。 電波の受信場所の設定を確認してください。 電波の受信場所の設定…P.23
	充電量が不足しています。 充電量が不足すると受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。 充電不足や充電切れ…P.15

製品仕様

精　　度：電波受信による時刻修正が行えない場合は、平均月差± 15 秒

基 本 機 能：時・分・秒、日付（2000 ～ 2099 年までのフルオートカレンダー）

電波時計機能：自動受信・手動受信
受信結果確認機能
スタンダードタイム / サマータイムの自動 / 手動切り替え
受信局自動選択機能（JJY で対応）
受信電波＝コールサイン：
JJY（40kHz/60kHz）、BPC（68.5kHz）
OFF：電波受信オフ

そ　の　他：秒針位置自動補正機能、パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能

使 用 電 池：二次電池

持 続 時 間：約 5 ヵ月
（光に当てないで、1 日あたり電波受信 1 回（約 3 分）使用した場合）

ご使用上の注意

■防水性

●防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

●時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

●防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

●時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■バンド

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

●バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■温度

●自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

●アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

●静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

●シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。

●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
●塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
●バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
●蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
●スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
●ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

●金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
●ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

●抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

